

2 ロジックモデル

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	現状値	目標値
災害医療の中心的役割を担うことが可能な体制の整備			
1	業務継続計画（BCP）に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6 病院	10 病院 (全病院)
DMA T養成研修の受講			
2	DMA T養成研修受講者数	14 人/年	16 人/年 (4人4組)

番号	項目	現状値	目標値
EMISに関する研修・訓練の実施			
3	広域災害・救急医療情報システム（EMIS）への登録率	98.9 %	100 %
4	EMISの操作を含む研修・訓練の実施回数	2 回/年	12 回/年
業務継続計画（BCP）に関する研修の受講			
5	業務継続計画（BCP）策定研修に参加した病院数	8 病院/年	10 病院/年

番号	項目	現状値	目標値
二次医療圏でのコーディネート機能の確認を行う災害訓練・研修の実施			
6	保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	5 回/年	6 回/年 (各保健所で1回)
7	県災害医療コーディネート研修実施回数	1 回/年	1 回/年
災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関との連携の確認を行う訓練の実施			
8	関係機関との訓練等の実施回数(県総合防災訓練、災害対策図上訓練、健康福祉部図上訓練等)	1 回/年	3 回/年
広域医療搬送を想定した災害訓練の実施			
9	広域医療搬送を想定した訓練（SCUを設置する実動・図上訓練等）実施回数	1 回/年	2 回/年

初期アウトカム（B）

番号	項目	現状値	目標値
災害医療の中心的役割を担うことが可能な体制の整備			
1	業務継続計画（BCP）に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6 病院	10 病院 (全病院)
自己完結型のDMA T等の派遣機能の整備			
2	DMA Tチーム数	24 チーム	28 チーム

番号	項目	現状値	目標値
被災情報を被災地内に発信できる体制の整備			
3	EMISの操作訓練での入力率	83.3 %	100 %
被災後早急に診療機能を回復できる体制の整備			
4	災害時に拠点となる病院以外の病院のBCP策定数	29.9 %	100 %

番号	項目	現状値	目標値
地域コーディネート体制の整備			
5	保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の参加機関数(地域災害医療対策協議会の構成機関総数)	0 %	100 %/3年
災害時に関係機関と迅速な連携が取れる体制の整備			
6	関係機関との訓練等の参加機関数（延べ機関）	74 機関	149 機関

分野アウトカム（C）

番号	項目	現状値	目標値
災害時においても必要な医療が確保される体制の構築			
1	初期アウトカムの達成率	-	6/6
2	病院の災害発生時におけるEMISモード切替後3時間以内のEMIS入力率	-	80 %